

WEEKLY NEWS

2014-2015年度 《28号》

週報 通算 2126回



第2640地区

和歌山東南

ロータリークラブ

本日の例会
2月4日(水)
18:30~華月殿

- ・坂口会長 開会点鐘
- ・ローターソング: 君が代、われ等和歌山東南ローター、バーステイソング
- ・出席報告(例会委員会)
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告
- ・委員会
- ・同好会報告
- ・行事「創立44周年記念例会」卓話
- 45周年準備委員会
- 辻本圭三委員長
- ・坂口会長 閉会点鐘

先週例会報告 会場監督 赤在依美

ゲスト:野村 豊和様、ビジター:和歌山中RC 井畑健司様

会長挨拶

坂口 和男会長

こんにちは。野村先生、本日卓話よろしくお願ひします。
中ロータリークラブの井畑さん ごゆっくりして行って下さい。
今、三つの大きなニュースがあります。一つはイスラム国の誘拐・人質事件・身代金について、皆さんどの様に思ひますか。身代金を支払ひますか、それとも自己責任ですか。二つ目は、錦織選手のベスト8進出(全豪オープンテニス)と言う事で、唯一明るいニュースです。是非優勝に期待したいです。三つ目はインフルエンザが蔓延しています。私の所の施設でも15名の方々が感染しています。高齢で、体調も弱っていますので、感染が早いです。皆さんもインフルエンザに感染しないように気を付けて下さい。



幹事報告

谷口 拓 幹事

- ① ロータリーレート 2月は1\$=118円です。
- ② 来週2月4日(水)18:30~の例会は創立44周年記念例会です。お酒がでますので、お飲みになられます方はお車でのお越しはご遠慮ください。
- ③ 12月の米山寄付金傾向・財団寄付金納入明細を各テーブルに一部ずつ置いておひります。皆様お目通しください。
- ④ アゼリア RC より先週の合同例会のお礼状をお送りいただきました。各テーブルに一部ずつ置いておひります。皆様お目通しください。



理事会議事録 150114

- ・「第38回障害児者家族のつながりを広める文化祭」についてご寄付のお願い。承認。例年通り、社会奉仕より10,000円を寄付。

ニコニコ箱

中岡 隆文会計

和歌山中 RC 井畑健司様・年末クリスマス家族会 ご参加ありがとうございました。
谷口君・野村先生、本日は宜しくお願ひします。
有本君・平先生 お世話になりました。
稲葉君・新年のごあいさつ、賀状ありがとうございました。
松浦君・野村先生 本日は卓話にお越し頂き ありがとうございます。
土屋君・平さん、先日はありがとうございました。



出席報告

出席者 出席率

ニコニコ	米山記念 奨学会	ローター 財団	東南育英 会	45周年記 念BOX	紀南災害 義援BOX
累計 1,596,058	162,000	152,000	46,000	869,200	0

会員総数	50名	1/28	36名	73.47%
出席免除会員	3名	1/14	44名	89.80%

坂口君・野村先生 よろしくお願ひします。
 保田君・皆様 今日は早いもので1月も終わりですね。
 辻本君・野村先生 多度カントリーでは大変お世話になりました。
 松浦君・平先生 先日はありがとうございます。
 土屋君・野村先生 本日卓話よろしくお願ひします。
 中岡君・平さん、先日はありがとうございました。
 和田君・寒いですね。



《委員会報告》



ロータリー情報・規定委員会 籠田 弘委員長

(テーマ) 「皆で盛り上げよう 45周年!!」 乞う 積極的なご提案!!!
 (趣旨) 創立45周年 大きな節目の事業に積極的に参加して頂く意味でも皆様方
 のご意見をよろしくお願ひ致します。

以上のテーマを各班でご討議いただき、3月11日(水) 18:30~の例会にて結果発表
 をお願ひ致します。

姉妹クラブ委員会 太田豊隆委員長



今年度 下半期の活動として「創立45周年の記念例会」への参加の呼びかけを兼ねて
 台北東南ロータリークラブと熊本東南ロータリークラブへの表敬訪問を考えていました。
 このことについて坂口会長には賛同をいただきましたので両クラブに年賀状を書いたと
 き、訪問したい旨を伝えましたところ、台北のPEFさんから「台北東南ロータリークラブ
 は27年3月13日(金)に年に一度のクラブ恒例の記念例会をするから、是非来てください。」
 とのお誘いの電話を頂きました。坂口会長に伝えましたところ、「是非参加しよう。」と
 のお返事を頂きました。予定は次の通りです。3月12日(木)関西空港出発、3月13日(金)
 は観光またはゴルフコンペ、夜は記念例会、3月14日(日)観光しながら帰国。

今から出欠表を回覧いたします。ご記入よろしくお願ひいたします。

「次が見えてくる楽しみ」

柔道ミュンヘンオリンピック金メダリスト 野村 豊和様



奈良の田舎で農業をしていた父が柔道が好きで豊徳館道場を始めたのが始まりです。それは私が10歳の時で、本当にひ弱な子供でしたが柔道を始めたお陰か病氣もしなくなり、元気な子供になって行きました。中学には柔道部もなく試合に出る事も有りませんでした。やっと3年生になってようやくクラブを作ってもらい試合に参加する様に成りました。

天理高校に入試の際、大学の柔道郎の寮に泊めてもらった時に、山崎さんから今までやった事のない後ろ回りの背負いを教えてもらいました。しかしやるべきかどうか悩みましたが高校の寮に入ってからにはやることにしました。当時の体重63kg・身長162cmこんな身体では戦えません、なんとか自分

流の柔道を作らないとの思いで、夜の一人打ち込みやトレーニングが始まりました、しかし思う様には行きません。何せ相手は大物ばかり、背負い投げで右の肘を痛めてしまい練習でも背負いを掛ける事も出来ずどうにも成りません・・・。右が駄目なら左の一本背負いの練習を始めました、自転車屋さんに行ってパンクのしたチューブを貰って来るが直ぐに切れてしまう。

ただでは無い練習量と毎日999本のチューブ引きが続きました、少しでも良い背負い投げの完成を目指して・・・やっていると少しずつ変わって行き。感じた事をノートに書き、少しでも良い方法が無いか探し続けました。一年・二年・三年でついにインターハイに出場、いきなり全国優勝。その後の柔道生活も自分の柔道の完成を日指し、多くの喜びを得る事が出来ました。

楽しいと 思える日まで 苦勞せよ

